

長崎県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	100点		
問題構成	大問6題，地理・歴史・公民ともに大問2題ずつ出題。 歴史は近世までの大問で16点，それとは別に近世以降の大問で18点の計34点。 地理は日本地理の大問で17点，世界地理の大問で17点の計34点。 公民は政治分野を中心に17点，経済・国際分野で15点の計32点。				
	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)	平成31年度(2019)
問題量(A4で)	8ページ分	8ページ分	8ページ分	8ページ分	8ページ分
小問数	42問	37問	40問	38問	43問
論述問題の数	6問	5問	6問	6問	7問
論述問題配点	19点	16点	21点	20点	20点

【出題の傾向と対策】

① 歴史では，資料を参考とした論述問題が出題されるため，内容まで説明できるようにしておく。

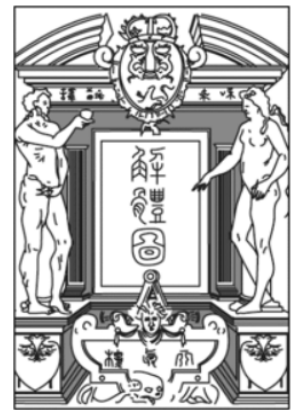
R4 ①

問5 次の文は，Sの期取に制作された右の資料について，かすみさんとまさおさんの間で交わされた会話の一部である。文の **T** にあてはまる内容を簡潔に書け。

かすみ：資料は『解体新書』の扉絵だね。『解体新書』はオランダ語で書かれた医学書を翻訳したものだよ。

まさお：オランダ語で西洋の学問や文化を学ぶことを蘭学といったけど，なぜオランダ語を学んだのだろうか。

かすみ：それお江戸幕府が **T** からだよ。(以下略)



① 出来事だけではなく，深い内容まで考える問題も多い。

- ② 年表中のある期間におきた出来事に関する問題がよく出題されるので，出来事の前後関係やどの時代に起きた出来事が整理して覚えておく。
- ③ 歴史では，日本の出来事だけではなく，海外の出来事も出題される。特に中世以降の出題が多いため，内容をしっかり確認しておく。
- ④ 日本地理では，地形図から読み取れる内容について問う問題が毎年出題されているため，地図記号や縮尺・方位などを把握し，地形図を正しく読み取れるかどうかは鍵となる。

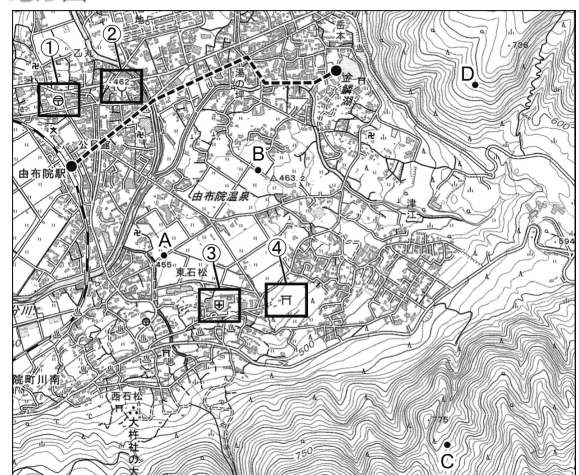
R3 ④

問1 (1) 地形図の **□** で示された①～④の範囲にみられるそれぞれの地区記号と，施設の組み合わせとして，正しいものは次のア～エのどれか。

- ア ①-高等学校 イ ②-消防署
 ウ ③-警察署 エ ④-寺院

(2) 地形図のA～Dで示した地点のうち，標高が最も高い地点を選び，その記号を書け。

地形図



④ 地形図に関する問題は毎年出題されている。実際の距離の計算，地図記号の読み取り，等高線の読み取りなど幅広く出題される。
 ※昨年度は地形図を読み取る論述問題が出された。

- ⑤ 説明文から都道府県を考えさせ、その県庁所在地を漢字指定で答えさせる問題が、毎年出題されている。どこの県庁所在地が出題されても大丈夫なように漢字で書けるかを確認しておくこと。

⑤ほとんどの年度で問われているのは、県庁所在地名が都道府県名とは異なる場所である。

- ⑥ 地理では、資料をもとに、論述する問題が多い。そのため、資料を丁寧に読み取って、記述する練習が必要である。

R5 ④

問6 オリンピックの開催都市に興味を持ったツバサさんは、過去の夏季オリンピックの開催地について資料を作成した。下の文は、資料と開催地の地理的特徴についてツバサさんが先生と交わした会話の一部である。資料をみて、文の□P、□Qにあてはまる内容をそれぞれ簡潔に書け。(一部省略している)

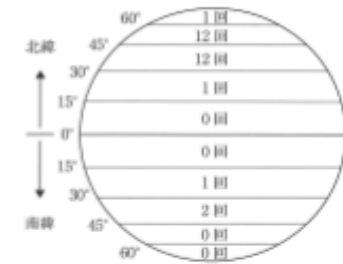
ツバサ：資料の①から、30度未満の緯度帯では2回しか開催されていないことが分かりました。地図のリオデジャネイロとメキシコシティです。

先生：2つの都市の7月～9月の気温はどのようなものでしょうか？

ツバサ：そのことに関連して東京と比べたデータを資料の②にまとめました。リオデジャネイロは□P、メキシコシティは□Qという地理的特徴のため、どちらも東京よりも涼しいことが分かりました。

資料

① 開催都市の緯度帯別開催回数



② 開催都市の7月～9月の平均気温と標高

開催都市	7月～9月の平均気温(℃)	標高(m)
東京	25.3	40
リオデジャネイロ	22.1	6
メキシコシティ	17.4	2,309

⑥限られた時間制限の中で、長い会話文や複数の資料を読み取ることの対策は必須である。

- ⑦ 公民分野の論述では、仕組みについての知識を前提とした論述問題にも慣れておこう。

R3 ⑤

問6 表Iは、各都道府県における人口10万人あたりの弁護士数をもとにまとめたものである。また、表IIは、各都道府県に設置された法テラスの事務所数をもとにまとめたものである。表I、表IIから、長崎県について読み取れることを簡潔に書け。なお、具体的な数値を示す必要はない。

表I

人口10万人あたりの弁護士数	都道府県名
40人以上	東京都, 大阪府
18~39人	北海道, 京都府, 他6県
12~17人	高知県, 鹿児島県, 他20県
11人以下	埼玉県, 長崎県, 他13県

※人口10万人あたりの弁護士数の全都道府県における平均は、17.7人。

(『弁護士白書2018年版』から作成)

表II

法テラスの事務所数	都道府県名
7か所	長崎県
6か所	北海道
5か所	鹿児島県
4か所	埼玉県, 東京都, 高知県, 他5県
3か所以下	京都府, 大阪府, 他34県

(『法テラス白書平成30年度版』から作成)

⑦ 公民分野の論述は、指定語句を使った問題が多いが、前提となる知識を覚えておかないと歯が立たない論述問題が出題される年もある。制度や仕組みを整理して覚えておく必要がある。

- ⑧ 論述問題は、答えを書く前に聞かれていること、使わないといけない資料・語句、文末表現などを確認してから書き始めよう。

⑧論述問題は、文の一部を答えるものや理由を答えるものなど色々なパターンで出題される。会話文や説明文の空欄を埋める問題の場合、空欄の続きの文章に繋がられるように、文末表現に気をつけよう。指定語句がはっきり書かれておらず、「ただし○○についてふれること」となっている場合もあるので注意が必要だ。

- ⑨ 各分野の正誤問題が入試で聞かれることが多いため、語句をそのまま覚えるのではなく、意味や内容も覚えておくこと。自分の言葉で説明できるようにしよう。

解答

R4 ① 問5 T(例) (鎖国政策を実施して)ヨーロッパの国々との通商をオランダに限定した

R3 ④ 問1(1) イ (2) C

R5 ④ 問6 P(例)南半球に位置している Q(例)標高が高い

R3 ⑤ 問6(例)長崎県の人口10万人あたりの弁護士数は全都道府県の平均よりも少ないが、法テラスの事務所数は最も多い。